資料２

駐輪場の現状と課題について

令和3年10月6日（水）

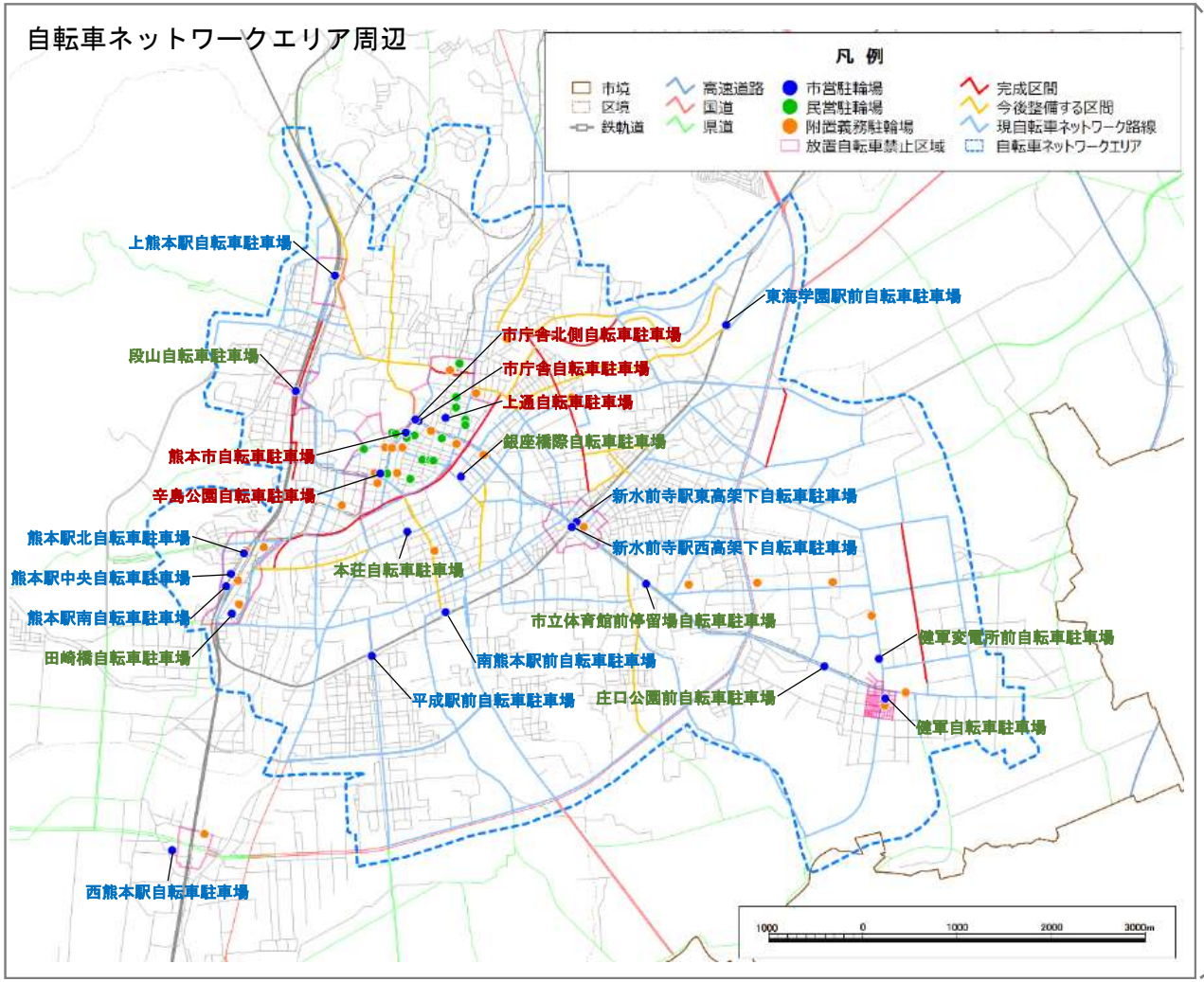
熊本市自転車駐車対策等協議会

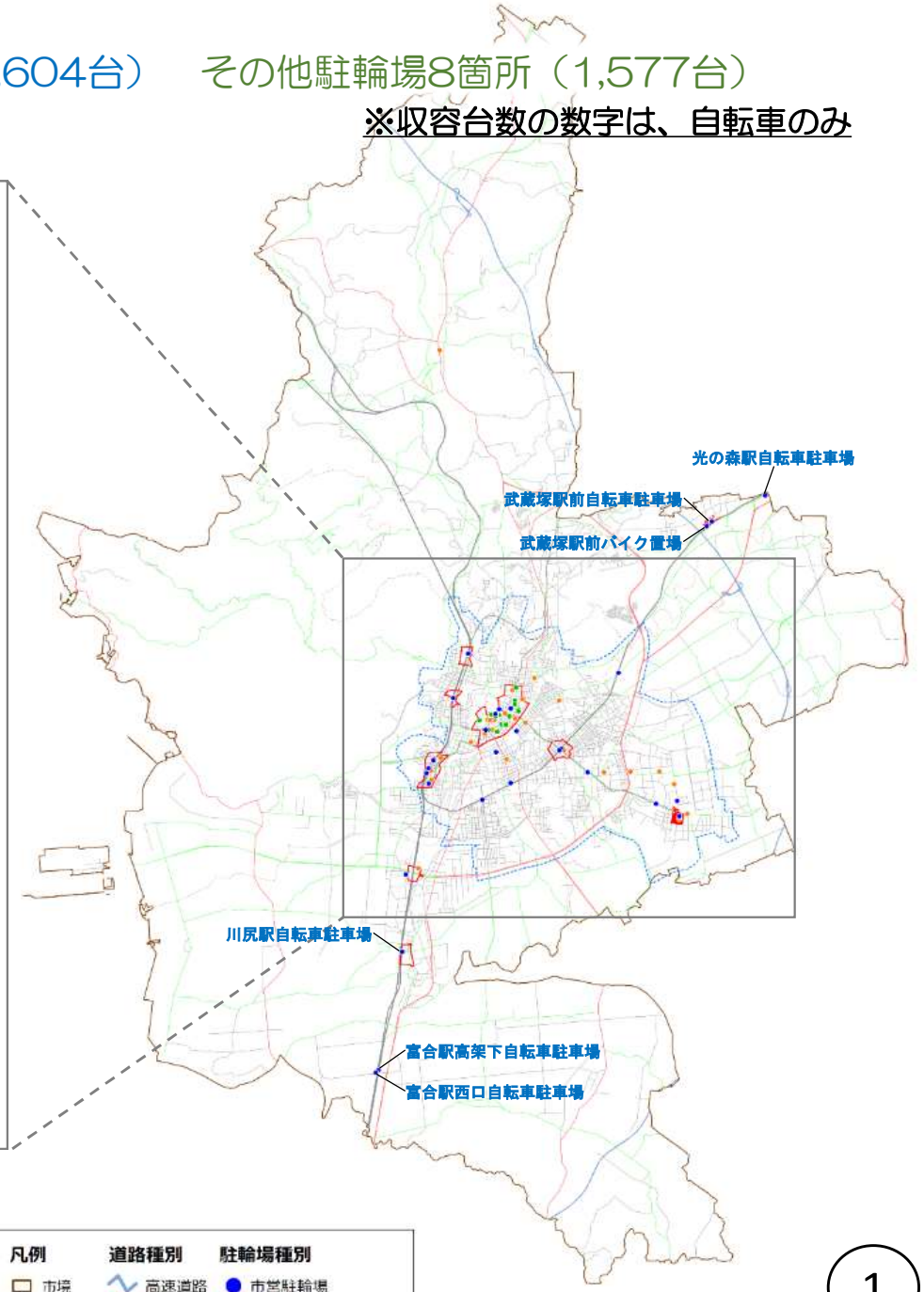
1. 市営駐輪場の整備状況

中心部駐輪場5箇所（収容台数1,720台）　駅前駐輪場16箇所（6,604台）　その他駐輪場8箇所（1,577台）

計29箇所（9,901台）

※収容台数の数字は、自転車のみ





2.「駐輪環境の整備・構築」に向けて（熊本市自転車活用推進計画より）

○推進計画では「駐輪環境の整備・構築」を施策として掲げており、
施策の推進に向けて各駐輪場の調査を実施。

【熊本市自転車活用推進計画（R3.3）より】

基本方針1　乗る(ばい) bicycle「自転車を便利に利用できる環境づくり」

施策	取組
1. 自転車走行空間の整備	①自転車走行空間の整備
	②交通事故危険箇所における事故防止対策
	③自転車ネットワークの拡充
2. 駐輪環境の整備・構築	①交通結節点等における駐輪場整備
	②放置自転車ゼロ作戦
	③駐輪場整備補助の導入
	④駐輪場の有料化・料金体系の見直し
	⑤駐輪場設備の拡充および施設の更新
	⑥駐輪場のICカードへの対応化
3. 自転車通勤の促進	①熊本市版「自転車通勤推進企業」認定制度の導入
	②サイクル＆ライドの促進

本年度
各駐輪場の
調査を実施

3－1. 市営駐輪場の課題

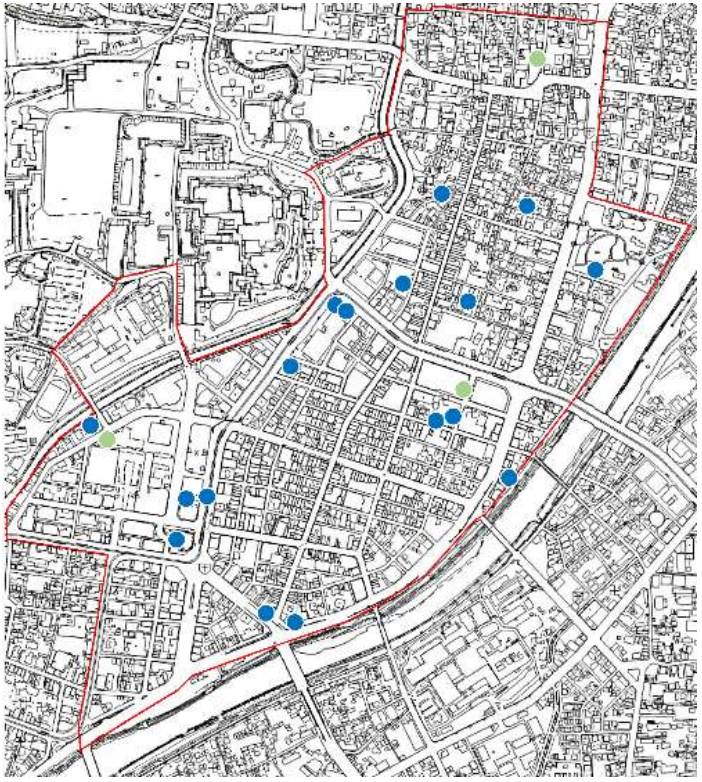
駐輪場の確保・適正配置

- 民営駐輪場が撤退し、中心部の駐輪場が大幅に減少している。
- 新市街や上通で民間駐輪場が撤退し、駐輪場がないエリアが発生。
- 附置義務駐輪場が増加しているものの、施設利用者以外は自由に利用できないという制約がある。

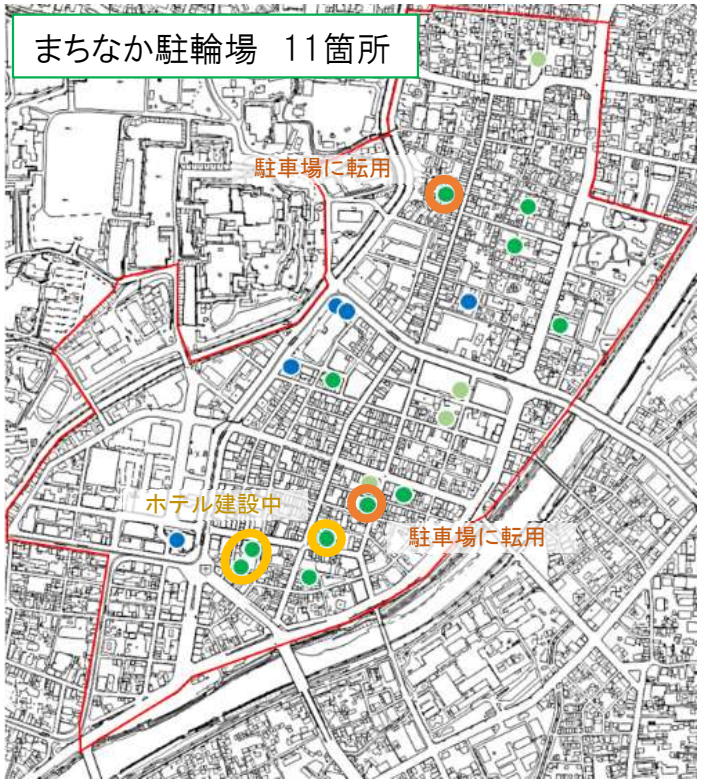
放置自転車ゼロ作戦(H24.6～)の開始前は、路上駐輪場や仮設駐輪場により収容台数を確保していたが、放置自転車が中心部のいたるところで発生していた。

駐車場開設やホテル建設など、別の用途への転用により、駐輪場が不足しているエリアがみられる。

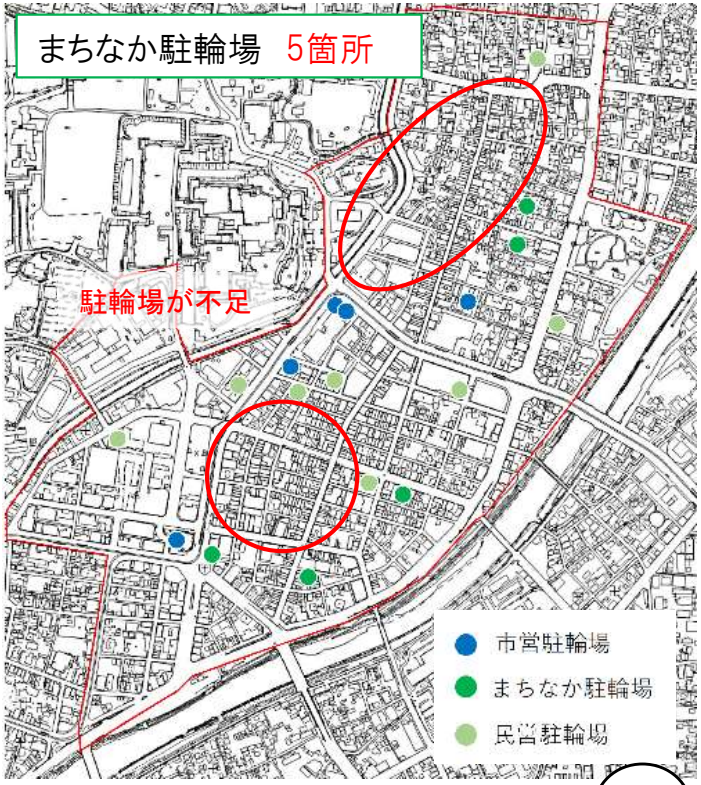
放置自転車ゼロ作戦開始前(H23.3)



放置自転車ゼロ作戦開始後(H24.3)



現在(R2.9)

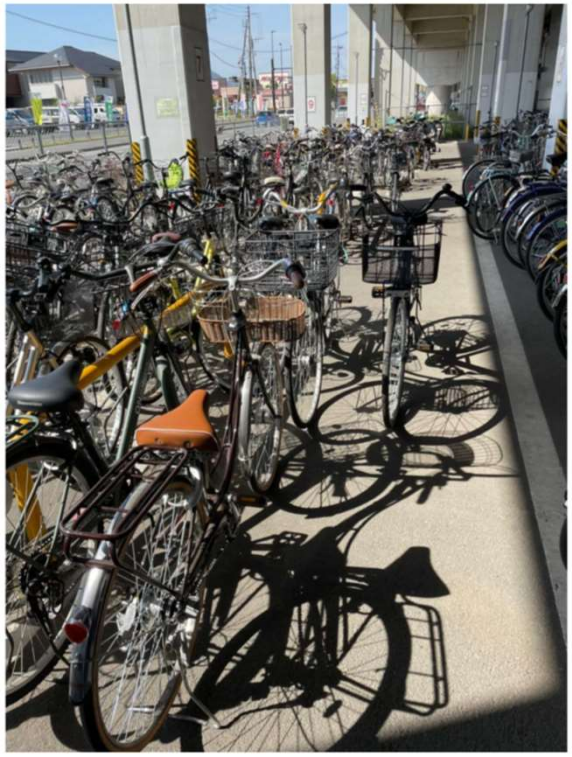


▲中心部の駐輪場の変遷（バイク専用を除く）

3－2. 市営駐輪場の課題

収容台数の確保

- 駅前駐輪場では、学生の留め置き自転車が多く、収容台数の確保が必要な駐輪場がある。
- 駐輪ラックがない駐輪場では、整列駐輪ができず、容量不足の原因となっている。



▲収容台数を超え、通路に駐輪されている状況
（西熊本駅）

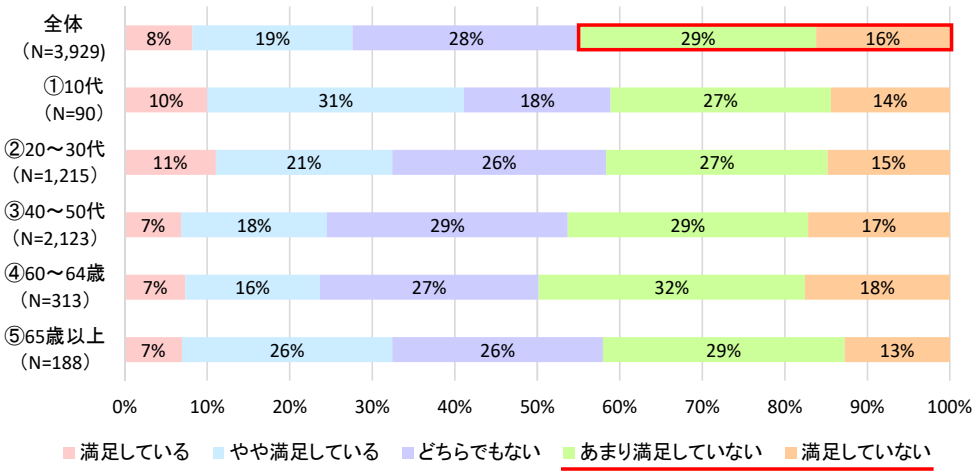
▲収容台数を超え、通路に駐輪されている状況
（銀座橋際）

▲乱雑に駐輪されている状況
（平成駅前）

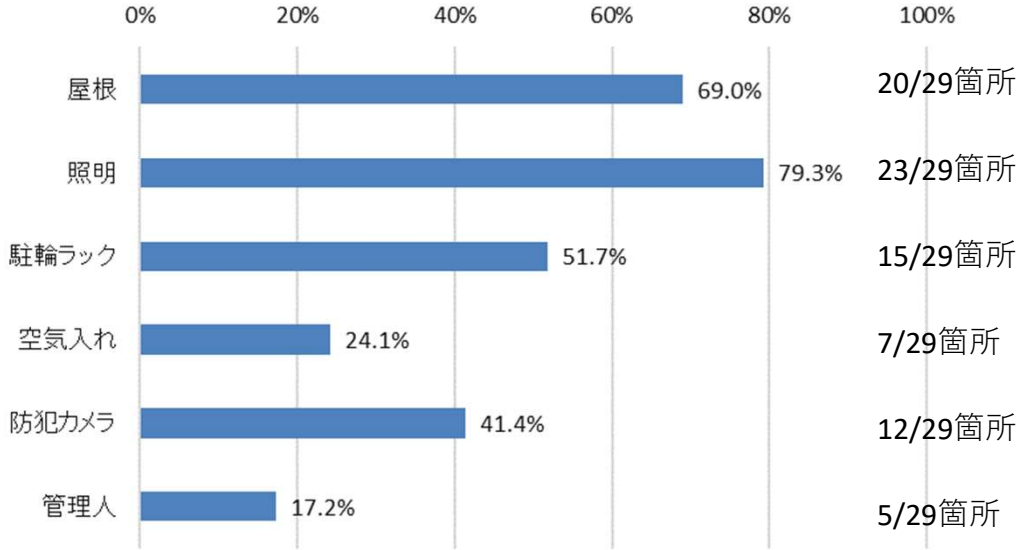
3－3. 市営駐輪場の課題

施設利用環境の改善

- 駐輪場の利用環境についての満足度が低くなっている。（R2年度熊本市自転車利用に関するアンケート調査）
- 屋根やラック等の設備が不十分な駐輪場や、設備の更新が必要な駐輪場がある。



▲駐輪環境の満足度



▲市営駐輪場の付帯設備の状況（付帯設備が整備されている駐輪場の割合）

▲屋根が整備されていない駐輪場
（南熊本駅前）

▲故障により使用できない２段ラック
（武蔵塚駅前）

3－4. 市営駐輪場の課題

多様化する利用者ニーズへの対応

・スタンドのないスポーツバイクやかご付き自転車など、通常の駐輪スペースに駐輪できない車種が増加している。
・自転車が高額化する中、自転車施策を展開していくためには、防犯対策を行う必要性がある。

▲スポーツバイク専用区画
（庁舎北側駐輪場）

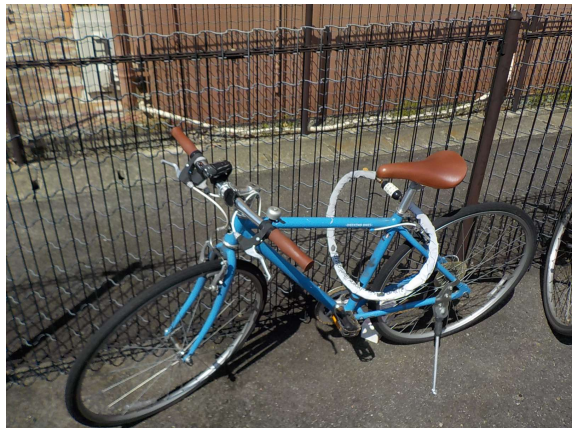
▲その他専用区画
（武蔵塚駅前駐輪場）

▲その他専用区画
（健軍駐輪場）

駐輪マナーの向上

・一部の駐輪場では、区画外に駐輪されている自転車や、長期駐輪の自転車がみられる。

▲通路に駐輪している状況
（富合駅駐輪場）



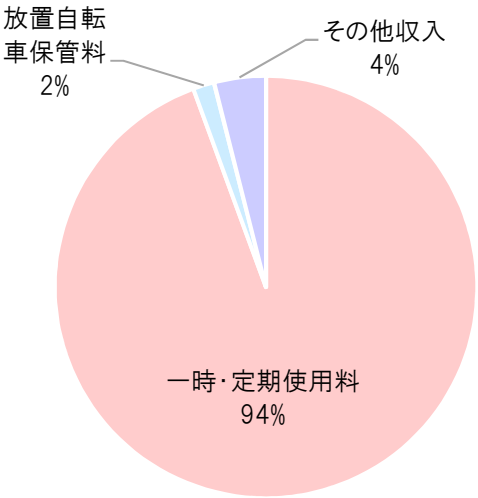
▲フェンスに直接チェーンをつけている
（南熊本駅駐輪場）

3－5. 市営駐輪場の課題

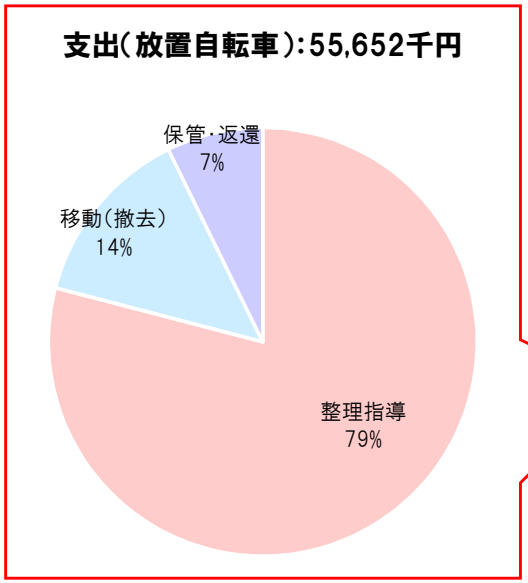
駐輪場の適切な管理・運営

- 収入が中心部駐輪場に限られ、市全体の駐輪場に関する運営収支は赤字。
- 維持管理や更新に加え、設備投資等への費用の捻出が厳しい状況。

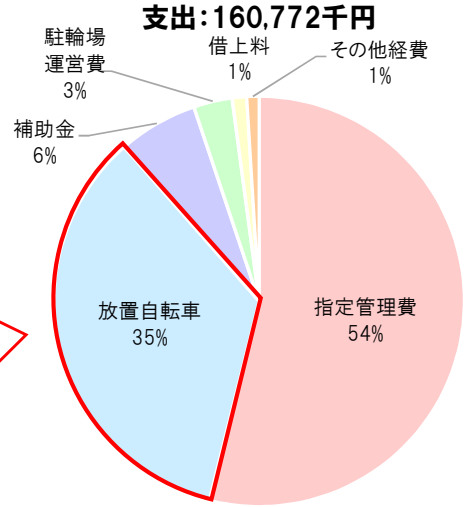
収入：80,950千円



支出（放置自転車）：55,652千円



支出：160,772千円



一時・定期使用料	76,424
放置自転車保管料	1,317
その他収入	3,209
計	80,950

▲令和2年度収入内訳

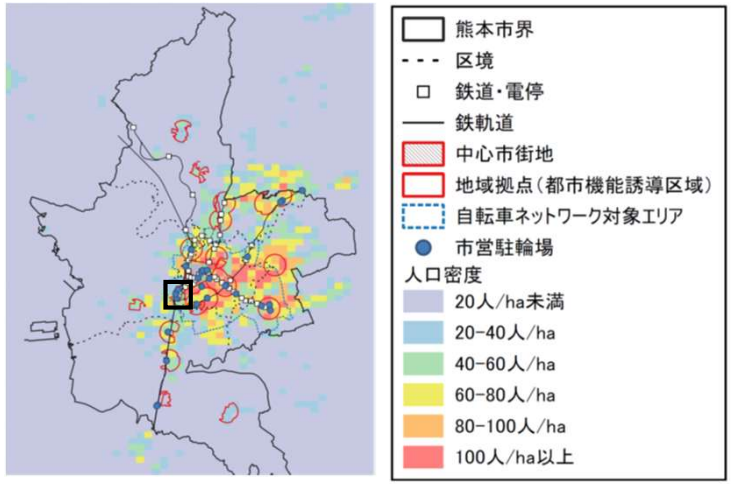
単位：千円

指定管理費		86,688
放置自転車		55,652
	整理指導	44,000
	移動（撤去）	7,606
	保管・返還	4,046
補助金		10,150
駐輪場運営費		4,895
借上料		1,819
その他経費		1,567
計		160,772

▲令和2年度支出内訳

4－1. 各駐輪場の調査結果（熊本駅周辺）

熊本駅自転車駐車場（北・中央・南）［ラック式］
○熊本駅は熊本県における鉄道拠点で、バスや市電とも結節しており、公共交通の利用数が非常に多い駅となっている。
○熊本駅周辺は中心市街地に位置付けられており、周辺に商業施設や企業等が立地している。
○駐輪場は収容規模が大きく、利用環境も充実している。（利便性が高い）
○駅のコンコースに近い北・中央と比較して南駐輪場の自転車利用台数が非常に少ない。
○夜間の学生の留め置きが多い。朝・晩など、一般の方が駐輪しにくい。
○大規模なため、他の駐輪場と比較して、運営経費がかかっている。



1km圏内の高校数　0校

1km圏内の高校数　0校

1km圏内の高校数　0校

1km圏内の高校数　0校

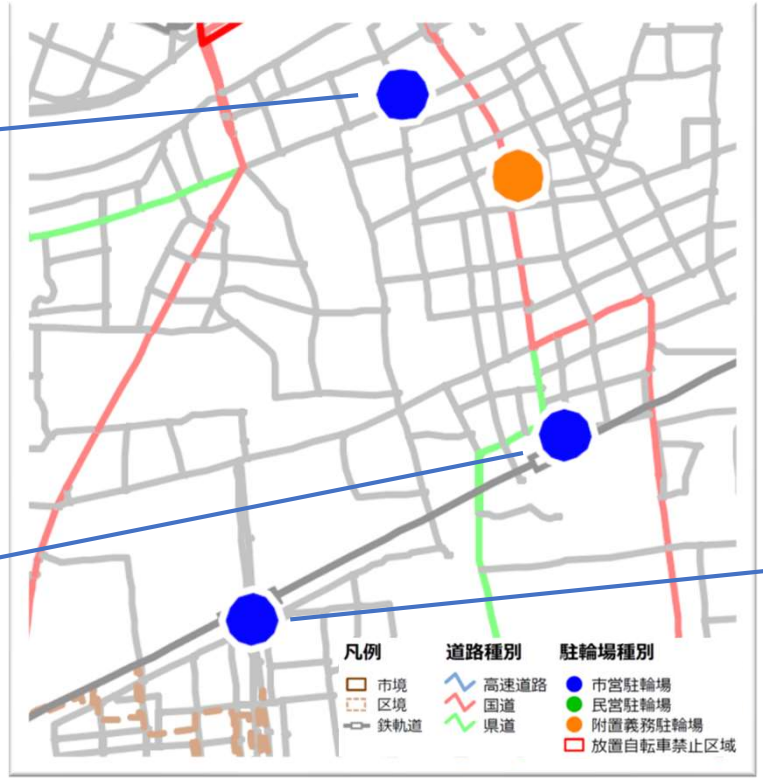
田崎橋自転車駐車場［ラック式］
○田崎橋電停の乗換駐輪場として、令和３年３月に新設。
○屋根や駐輪ラック整備等、利用しやすい環境にある。

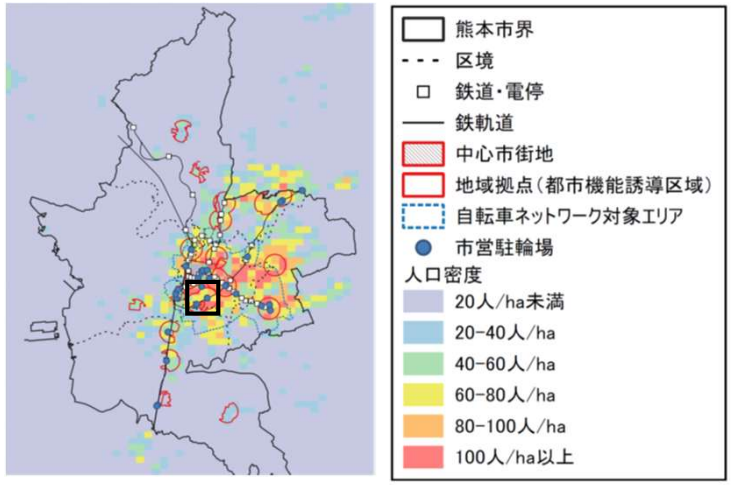
4－2. 各駐輪場の調査結果（南熊本、平成方面）

本荘自転車駐車場［平置き］
○地域拠点外で近くに鉄道駅・電停はなく、利用台数が少ない。

1km圏内の高校数　0校

1km圏内の高校数　0校





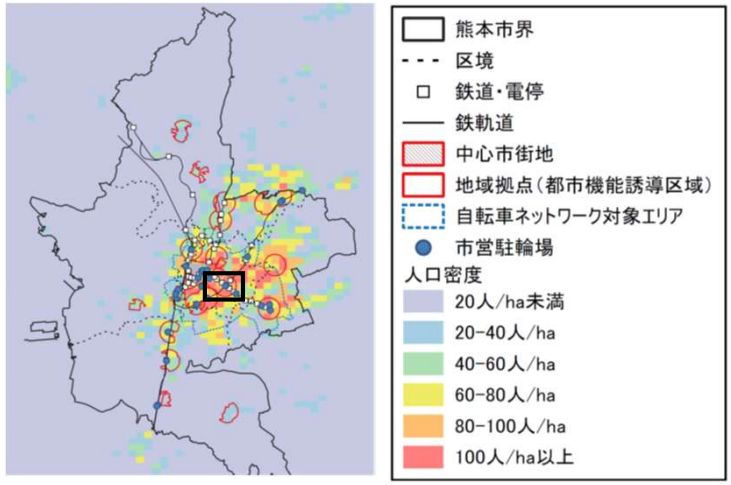
1km圏内の学校数　0校

平成駅前自転車駐車場［平置き］
○地域拠点内に立地し、周辺人口が多い。鉄道駅に隣接している。
○駐輪容量を超えており、通路に駐輪している状況。
○ラックがないため、乱雑に駐輪されている状況にある。

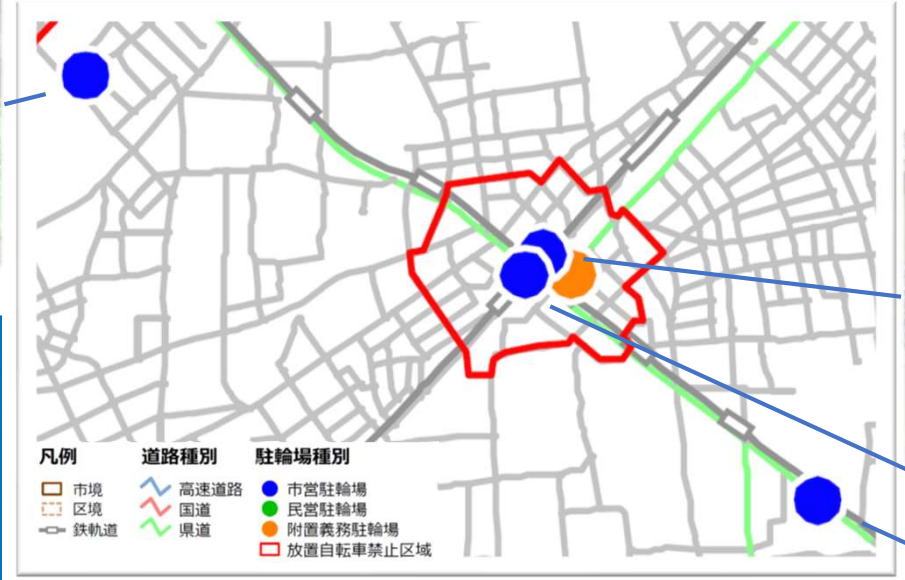
南熊本駅前自転車駐車場［平置き］
○地域拠点内に立地し、周辺人口が多い。鉄道駅に隣接している。
○利用は多いが、屋根、ラックは整備されていない。

4－3. 各駐輪場の調査結果（銀座橋、水前寺方面）

銀座橋際自転車駐車場［平置き］
○中心部に近い無料駐輪場であり、通勤利用者が多い。
○原付の駐輪が多い。
○駐輪容量を超えており、通路に駐輪されている自転車がみられる。
○利用は多いが、屋根、ラックは整備されていない。



1km圏内の高校数　5校



1km圏内の高校数
8校

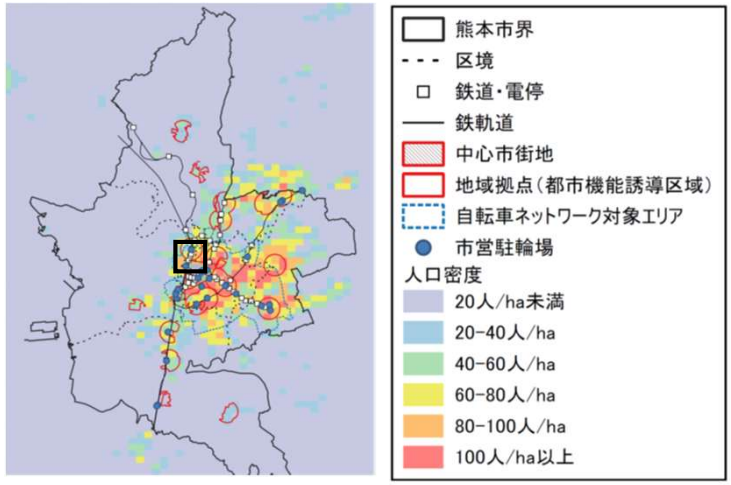
新水前寺駅自転車駐車場（東高架下・西高架下）［ラック式］
○地域拠点内に立地し、かつ鉄道駅・電停の乗換拠点であり、周辺人口、周辺の施設や学校も多い。
○学生の留め置きが多く、駐輪容量を超え、通路に駐輪されている自転車がみられる。
○朝夕に整理員を投入して、駐輪場所を確保している状況。

市立体育館前電停自転車駐車場［平置き］
○電停に隣接し、周辺人口は多いものの、利用が少ない。
○屋根、ラックは整備されていない。

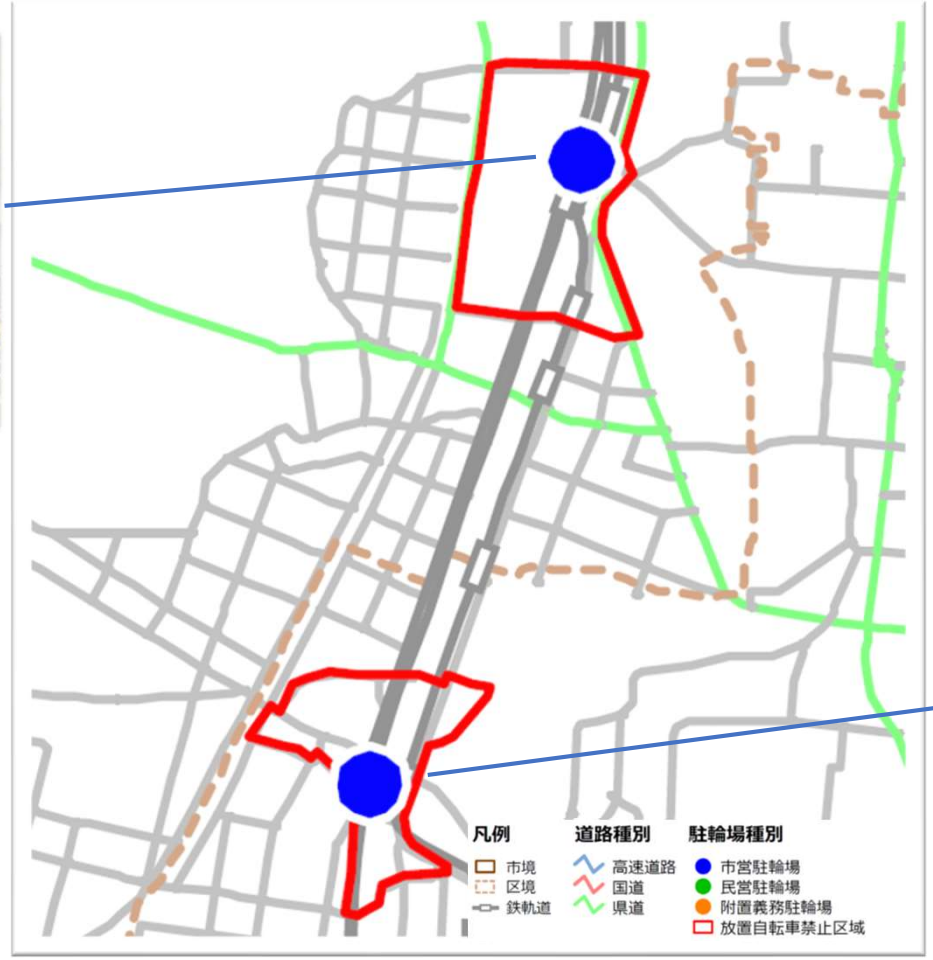
1km圏内の高校数　3校

4－4. 各駐輪場の調査結果（上熊本方面）

上熊本駅自転車駐車場［ラック式］
○地域拠点内に立地し、かつ鉄道駅・電停に隣接している。
○駐輪場は収容規模が大きく、利用台数も多い。
○駐輪場は近年整備しており、屋根や駐輪ラック等、利用しやすい環境にある。



1km圏内の高校数　0校

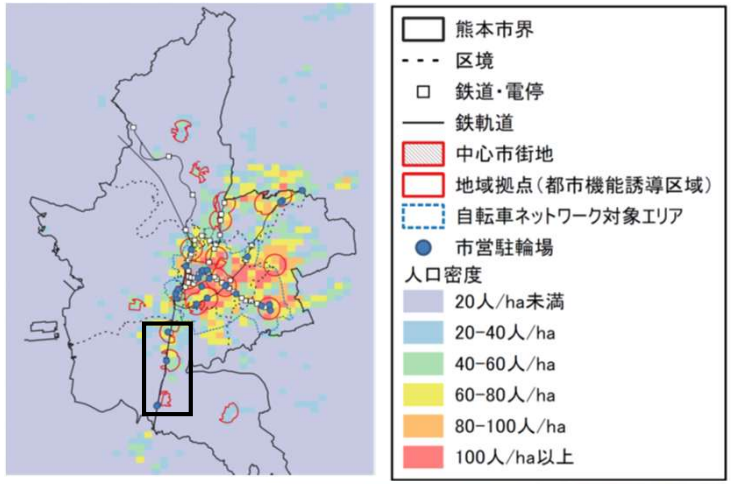


1km圏内の高校数　2校

段山自転車駐車場［平置き］
○段山電停の乗換用駐輪場として整備するが、収容規模が小さい。
○ラックは整備されていないが、高架下で雨除けはできる。

4－5. 各駐輪場の調査結果（西熊本駅、川尻駅、富合駅）

西熊本駅自転車駐車場［ラック式］
○地域拠点内に立地し、鉄道駅に隣接している。
○学生の留め置きが多く、駐輪容量を超え、通路に駐輪されている自転車がある。
○ラックがない区画では、乱雑に駐輪されている状況。
○朝夕に整理員を投入して、駐輪場所を確保している状況。



1km圏内の高校数　0校

1km圏内の高校数　0校

1km圏内の高校数　0校

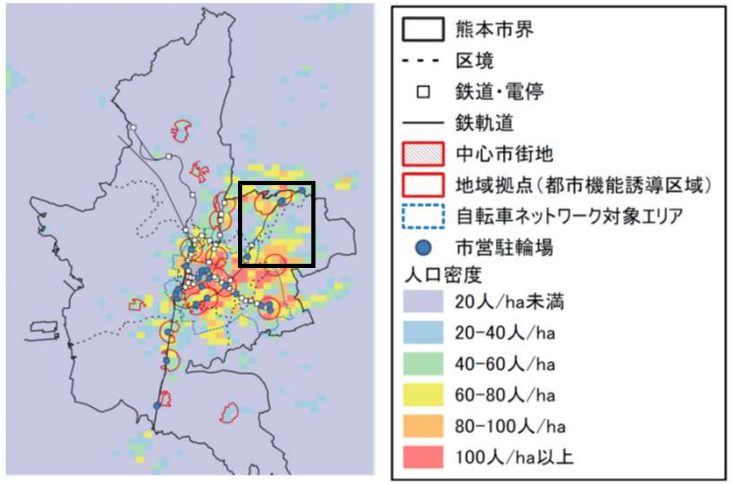
1km圏内の高校数　0校

川尻駅自転車駐車場［ラック式］
○地域拠点内に立地し、鉄道駅に隣接している。
○周辺人口、周辺の施設や学校は少ない。
○屋根、ラックは整備されていない。

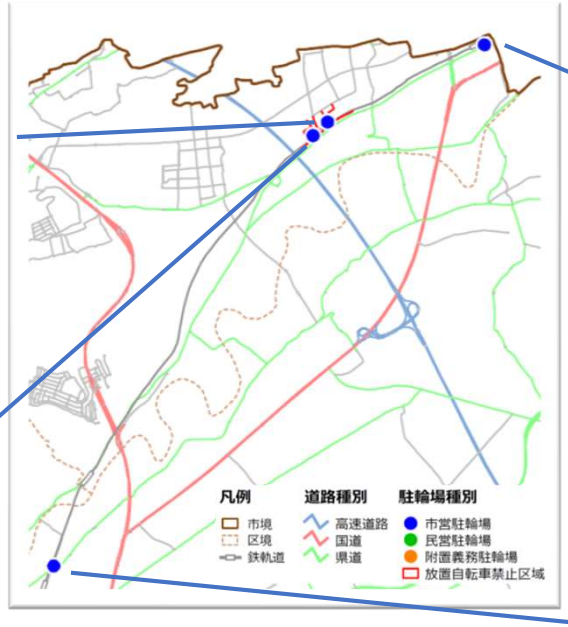
富合駅自転車駐車場（高架下・西口（路上））［ラック式（路上平置き）］
○鉄道駅に隣接しているものの、地域拠点（富合）から離れており、周辺人口、周辺の施設や学校も少ない。
○通路に駐輪されている自転車がある。

4－6. 各駐輪場の調査結果（武蔵塚方面）

武蔵塚駅前自転車駐車場［2段ラック式］・バイク置き場［平置き］
○地域拠点内に立地し、鉄道駅に隣接している。
○駐輪場は収容規模（４階建）が大きく、利用台数も多い。
○指定管理制度を導入しているため、サービスは充実している。
○開設から２６年が経過し、建物を含め、老朽化が著しい。
○バイク置き場の老朽化も著しく、屋根の更新等が必要となっている。



1km圏内の高校数　0校



1km圏内の高校数　0校

光の森駅自転車駐車場［平置き］
○鉄道駅に隣接しているものの、利用台数が少なく、周辺人口、周辺の施設や学校も少ない。
○屋根、ラックは整備はなく、乱雑に駐輪されている状況がみられる。

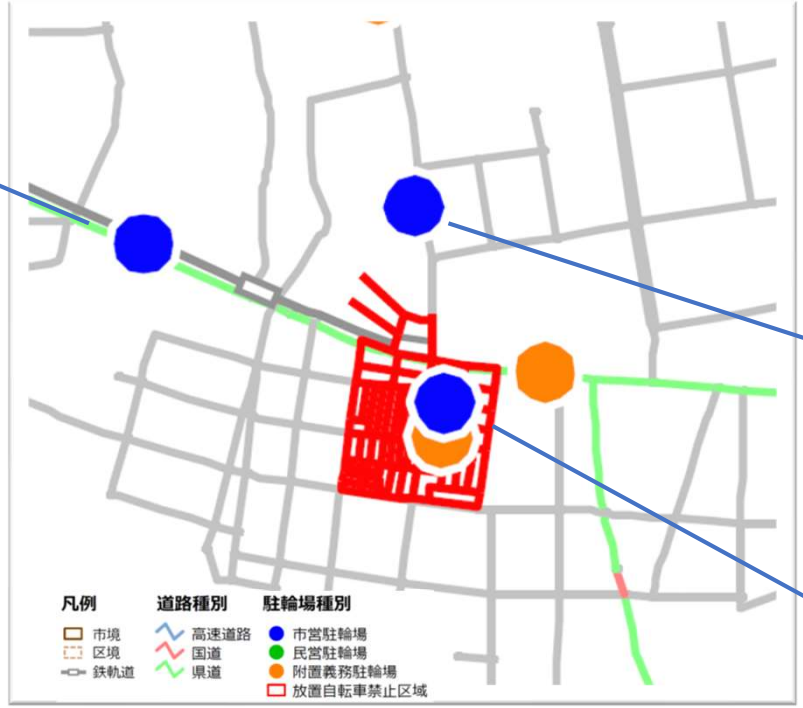
東海学園駅前自転車駐車場［平置き］
○JRへの乗り換え利用が多いが、駐輪場は駅から遠い位置にある。
○借地であり、駐輪場の運営が不安定な状況。

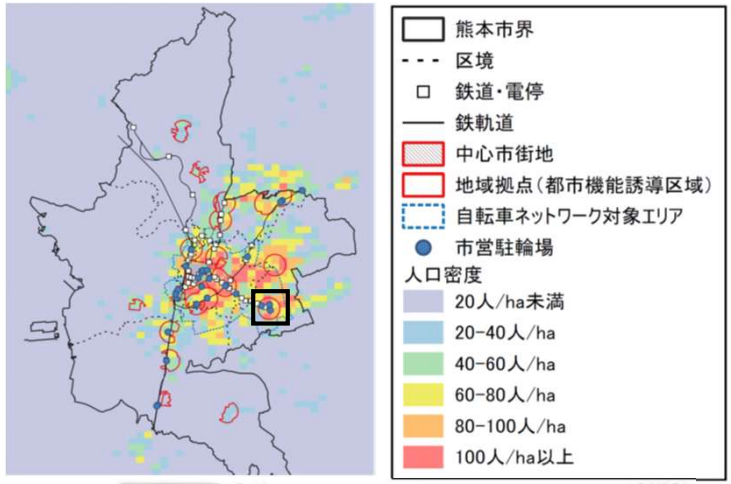
1km圏内の高校数　1校

4－7. 各駐輪場の調査結果（健軍方面）

庄口公園前自転車駐車場［平置き］
○市電電停に隣接している。
○収容台数が少ないため、自転車の占有率は高い。
○ラック外や通路に駐輪されている自転車がみられる。

1km圏内の高校数　1校





1km圏内の高校数　1校

1km圏内の高校数　1校

健軍変電所前自転車駐車場［平置き］
○地域拠点内に立地しているが、健軍電停や健軍商店街から離れている。
○ラックは整備されていないが、利用は多い。
○老朽化が著しい。

健軍自転車駐車場［ラック式］
○地域拠点内に立地し、健軍商店街での買い物客や市電乗換の利用者等に利用されている。
○駐輪場は令和２年１月に更新し、屋根や駐輪ラック等、利用しやすい環境にある。

5.「駐輪環境の整備・構築」に向けて

【熊本市自転車活用推進計画（R3.3）より】

基本方針1　乗る(ばい) bicycle「自転車を便利に利用できる環境づくり」

施策	取組
1. 自転車走行空間の整備	①自転車走行空間の整備
	②交通事故危険箇所における事故防止対策
	③自転車ネットワークの拡充
2. 駐輪環境の整備･構築	①交通結節点等における駐輪場整備
	②放置自転車ゼロ作戦
	③駐輪場整備補助の導入
	④駐輪場の有料化･料金体系の見直し
	⑤駐輪場設備の拡充および施設の更新
	⑥駐輪場のICカードへの対応化
3. 自転車通勤の促進	①熊本市版「自転車通勤推進企業」認定制度の導入
	②サイクル＆ライドの促進

令和3年度の駐輪場整備は、植木駅の新設と西熊本駅の増設を予定

本年度の調査結果を参考にして、来年度以降、優先順位を付けながら駐輪場サービスの充実を図っていく。